



# STORY 01



## 20年語り続けた夢が、ドーンと建った! 有言実行のお父さん、スゴイね。

自分が建てた家に家族がいる。それはごくありふれたシーンかもしれないが、桜井さんはその日常でしみじみと満ち足りる。口には出さないが、「やったぞー」と心の中でガッツポーズを作っているはずだ。そんな桜井さんを弘美さんがはめてくれた。「お父さん、すごいね。有言実行だったものね」と。桜井さんはちょっと照れながら「うん」とうなずいた。

70歳代の両親はまだまだ元気。時には後継者宣言をしてくれた健一郎さんがキッチンに立ち、ホテル仕込みの中華料理を振る舞ってくれると、弘美さんはとてもうれしそうだ。そして週末になれば、寮暮らしの長女（21歳）も帰ってきて、桜井家はいつそう華やぐ。

まだ暗い午前4時半。桜井さんは牛舎へ向かう。昨年まではこの時期、部屋は冷え込み布団から出るのがつらかった。でも、今年は暖かな家で目覚める事ができ、「今日も頑張るぞ」と起き上がる。しかし、暖かいのは家のせいだけではない。ちょうどこの家が完成したころ、札幌市のホテルで調理の仕事をしてきた長男の健一郎さんが、「家に戻って酪農を継ぎたい」と言ってくれたのだ。そうして初めて師となった桜井さんは、「いい加減な仕事の仕方教えるわけにはいかない」と、少し緊張しながらも、親子で同じ道を歩めるうれしさを実感している。

桜井さん夫妻が結婚したのは今から23年前。桜井さんの両親が建てた、当時築10年の家で新生活はスタートした。振り返れば、若い夫婦が働く牛舎には、いつもとりとめない会話が流れていたものだ。「生懸命働いて、いつかいい家を建てような。外国風の家なんかどうだ？」と話す桜井さんに、妻の弘美さんはいつも、「そうだね。いつになるんだろうね」と答えていた夢…。それがついになつた。延べ床面積227㎡以上という、大きなカナダ本格輸入住宅が十勝晴れの空に映えている。

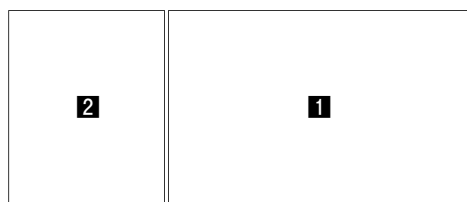
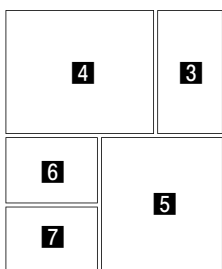


桜井さんの家 (鹿追町)

### 家族構成

夫・桜井公彦さん(46歳・酪農業)、妻・弘美さん(46歳)、  
長男・健一郎さん(22歳)、父・等さん(72歳)、母・百合子さん(71歳)

2×6 カナダ本格輸入住宅、オール電化 完成:2009年10月  
建築面積:(1F)138.15㎡、(2F)89.00㎡



**1** じっくり満を持しての我が家に大満足の桜井さん夫妻。随所に香る洋風の意匠と、白い壁とナチュラルカラーの無垢材が上品さを醸している。**2** 桜井さんの1番のお気に入り、リビングルームでくつろぎタイム。広さは約13畳だが、天井を高くし、さらに吹き抜けにして迫力の開放感だ。**3** 訪れた誰もが感嘆する、ガラスのリビングドア。**4** 2階の約7.3畳フリースペースは夫婦の書斎。弘美さんも家業の経理やJA婦人部の業務を落ち着いてこなせるようになった。**5** 個性的なL字開放型の対面式キッチン約7.3畳という広さ。大型の輸入キッチンなので収納力は抜群。**6** 家の完成時、家族で撮った記念写真はみんな笑顔。1階に両親のための掘りごたつき和室リビング&寝室、ウオークインクローゼットが確保された同居型二世帯住宅だ。**7** 桜井さんは21歳の時、農業研修でカナダへ行った経験からか、ずっと外国の家にあこがれていた。ガレージもおそろいで設えるのが夢の一つだった。